DERWENT-ACC-NO:

1999-343194

DERWENT-WEEK:

199952

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE:

Invention notification recognition system for

patent

applications - has third client provided with

recognition

unit that matches document data with indication

of

superior official confirming displayed data,

and stores

recognized information into memory unit

PATENT-ASSIGNEE: NEC CORP[NIDE] , NEC JOHO SYSTEMS KK[NIDE]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0291243 (October 23, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES

MAIN-IPC

JP 11126223 A

May 11, 1999

N/A

021

G06F 017/60

JP 2972675 B2

November 8, 1999

N/A

020

G06F 017/60

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DESCRIPTOR

APPL-NO

APPL-DATE

JP 11126223A

N/A

1997JP-0291243

October 23, 1997

JP 2972675B2

N/A

1997JP-0291243

October 23, 1997

JP 2972675B2

Previous Publ.

JP 11126223

N/A

INT-CL (IPC): G06F013/00, G06F017/60, G06F019/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11126223A '

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The recognition unit (133) of the third client computer matches the displayed document data with the indication of the superior official confirming

the displayed data, and stores the recognized information into the memory unit.

DETAILED DESCRIPTION - The first client computer (110) has a document-production unit (111) that inputs the documented data produced by the

inventor which shows the detailed statements necessary for patent applications.

A registration unit (112) transmits the information specifying the document

data input to the second client computer (120). The second client computer is

provided with a memory unit into which the document data specifying information

transmitted by the first client computer. The corresponding document data are

read from the memory unit and shown on the display unit (131) of the third

client computer (130) based on the invention notification information included

in the recognition request notification issued by a superior official through

the server computer (100). INDEPENDENT CLAIMS are also included for the

following: a recording medium that stores the invention notification recognition

program; an invention notification recognition procedure

USE - For patent applications.

ADVANTAGE - Ensures efficient electronic correction and recognition of document

data produced from detailed patent-applying statements produced by inventor.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the structural block diagram of

the invention notification recognition system. (100) Server computer;

(110-130) Client computers; (111) Document-production unit; (112) Registration

unit; (131) Display unit; (133) Recognition unit.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/9

TITLE-TERMS: INVENTION NOTIFICATION RECOGNISE SYSTEM PATENT APPLY THIRD CLIENT

RECOGNISE UNIT MATCH DOCUMENT DATA INDICATE SUPERIOR OFFICE CONFIRM

DISPLAY DATA STORAGE INFORMATION MEMORY UNIT

DERWENT-CLASS: T01

EPI-CODES: T01-H; T01-J05A;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-257716

#### (19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報(A)

## (11)特許出數公問番号

## 特開平11-126223

(43)公費日 平成11年(1999)5月11日

(51) Int.Cl.*		<b>维</b> 阴配号	ΡI		
G06F	17/60		G06F	15/21	Z
	13/00	351		13/00	351G

## 審査論表 有 請求項の表31 OL (全21 頁)

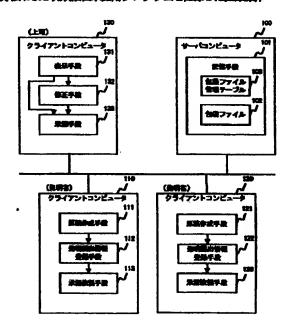
(21)出職番号	<b>特膜平9</b> -291243	(71)出版人 394017491
		株式会社エヌイーシー情報システムズ
(22) 出版目	平成9年(1997)10月23日	神奈川県川崎市資津区駅戸3丁目2番1号
		(71) 出版人 000004237
		日本電気株式会社
		東京都港区芝五丁目7番1号
		(72)発明者 高野 孝一
		東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気体
		式会社内
		(72)発明者 白水 明
		東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
		式会社内
		(74)代理人 旁理士 京本 直崖 (外2名)
		<b>海林百七畝</b> 〈

#### (54) 【発明の名称】 発明諸出承認システム、発明諸出承認方法および発明諸出承認用プログラムを記録した記録維体

#### (57)【要約】

【課題】発明者が作成した明細書取稿データを上司により承認できるようにし、共同発明については、上司承認 前の他の共同発明者による確認も可能とする。

【解決手段】第1のクライアントコンピュータが発明者が作成した明媚書原稿データおよび発明届出情報を入力すると、これらのデータは上旬に承認を依頼する旨の情報を付加されてサーバコンピュータに配慮される。上旬による承認は、第2のクライアントコンピュータがサーバコンピュータから承認を依頼する旨の情報が付加された明細書原稿データ等を取り出すことにより行う。また、発明が共同発明の場合、明細書原稿データ等は他の共同発明者に確認を依頼する旨の情報を付加されてサーバコンピュータに記憶され、他の共同発明者による確認は、第1のクライアントコンピュータがサーバコンピュータから確認を依頼する旨の情報が付加された明細書原稿データ等を取り出すことにより行う。



#### 【特許請求の範囲】

【簡求項1】 第1、第2および第3のコンピュータが 通信ネットワークを介して接続された発明属出承認シス テムにおいて、

前記第1のコンピュータは、

売明者が作成した特許出顧用明細書の原稿データを入力 する原稿作成手段と、

被原稿作成手段により入力された原稿データと該取稿データを特定するための発明届出情報とを前記第2のコン
ヒュータに送信する登録手段と、

前記登録手段により送信された原稿データを特定するための発明届出情報を含む承認依頼通知を前記発明者の上 町宛に行う承認依頼手段とを備え;前記第2のコンピュ ータは

前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶する記憶手段を備え:前記第3のコンピュータ は、

前記上司宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み 20 込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記上司の指示に 応答して、該表示された原稿データと対応づけて承認済 情報を前記記憶手段に記憶させる承認手段とを備えたこ とを特徴とする発明届出承認システム。

【論求項2】 第1、第2および第3のコンピュータが 通信ネットワークを介して接続された発明届出承認シス テムにおいて、

前配第1のコンピュータは、

発明者が作成した特許出顧用明細書の原稿データを入力 30 する原稿作成手段と、 する原稿作成手段と、 該原稿作成手段により

数原務作成手段により入力された原務データと該原務デ ータを特定するための発明届出情報とを前記第2のコン ビュータに送信する登録手段と、

前記登録手段により送信された原稿データを特定するための発明届出情報を含む承認依頼通知を前記発明者の上 可宛に行う承認依頼手段とを備え;前記第2のコンピュ 一タは、

前配第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ 40 て記憶する記憶手段を備え;前記第3のコンピュータ は

前記上可宛の前記承認依假通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み 込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記上司の指示に 応答して、該表示された原稿データを修正し、該修正さ れた原稿データと対応づけて承認済情報を前記記憶手段 に記憶させる承認手段とを備えたことを特徴とする発明 届出承認システム。 【請求項3】 第1、第2および第3のコンピュータが 通信ネットワークを介して按続された発明届出承認シス テムにおいて、

前記第1のコンピュータは、

発明者が作成した特許出顧用明細書の原稿データを入力 する原稿作成手段と、

該原稿作成手段により入力された原稿データと該原稿データを特定するための発明届出情報とを前記第2のコン ヒュータに送信する登録手段と、

10 前記登録手段により送信された原稿データを特定するための発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼手段とを備え;前記第2のコンピュータ は、

前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶する記憶手段を備え;前記第3のコンピュータ は、

前記他の発明者知の前記確認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段か 0 ら触み込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記他の発明者の 指示に応答して、該表示された原稿データと対応づけて 確認済情報を前記記憶手段に記憶させる確認手段とを備 えたことを特徴とする発明届出承認システム。

【請求項4】 第1、第2および第3のコンピュータが 通信ネットワークを介して接続された発明届出承認シス テムにおいて、

前記第1のコンピュータは、

発明者が作成した特許出顧用明細書の原稿データを入力 ・ オス 阿弥仲は手段と

該原務作成手段により入力された原務データと該原務データを特定するための発明届出情報とを前記第2のコン ピュータに送信する登録手段と、

前記登録手段により送信された原稿データを特定するための発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼手段とを備え;前記第2のコンピュータ は

前配第1のコンピュータから送信される順稿データと該 原稿データを特定するための発明展出情報とを対応づけ ) て記憶する記憶手段を備え;前配第3のコンピュータ は、

. 前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記他の発明者の 指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該 修正された原稿データと対応づけて確認済情報を前記記 億手段に記憶させる確認手段とを備えたことを特徴とす る発明届出承認システム。

50 【請求項5】 第1、第2、第3および第4のコンピュ

2

3

ータが通信ネットワークを介して挨続された発明届出承 包システムにおいて、

前記第1のコンピュータは、

発明者が作成した特許出顧用明細書の原稿データを入力 する風稿作成手段と、

該原稿作成手段により入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを前記第2のコン ビュータに送信する登録手段と、

前記登録手段により送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 10 行う確認依頼手段と、

前記確認依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記確認依頼通知に含まれる発明届出情報と同 じ発明届出情報を含む承認依頼通知を上司宛に行う承認 依頼手段とを備え;前記第2のコンピュータは、

前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶する記憶手段を備え;前記第3のコンピュータ

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明届 20 出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段か ら読み込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記他の発明者の 指示に広答して、該表示された風積データと対応づけて 確認済情報を前記記憶手段に記憶させる確認手段とを備 え:前記第4のコンピュータは、

前記上司宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み 込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記上司の指示に 30 応答して、該表示された原稿データと対応づけて承認済 情報を前記記憶手段に記憶させる承認手段とを備えたこ とを特徴とする発明届出承認システム。

【請求項6】第1、第2、第3および第4のコンピュー タが通信ネットワークを介して接続された発明届出承認 システムにおいて、

前記第1のコンピュータは、

発明者が作成した特計出顧用明確書の原稿データを入力 する顧稿作成手段と、

該原稿作成手段により入力された原稿データと該原稿デ 40 ータを特定するための発明届出情報とを前記第2のコン ヒュータに送信する登録手段と、

前記登録手段により送信された原稿データを特定するた めの発明国出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼手段と、

前記確認依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記建設依頼通知に含まれる発明届出情報と同 じ発明届出情報を含む承認依頼通知を上司宛に行う承認 依頼手段とを備え;前記第2のコンピュータは、

原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶する記憶手段を備え;前記第3のコンピュータ

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段か ら読み込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記他の発明者の 指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該 修正された原稿データと対応づけて確認済情報を前記記 位手段に記憶させる確認手段とを備え;前記第4のコン ビュータは、

前記上司宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み 以んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記上可の指示に 広答して、数表示された原稿データと対応づけて承認済 情報を前記記憶手段に記憶させる承認手段とを備えたこ とを特徴とする発明届出承認システム。

【讃求項7】 第1、第2、第3および第4のコンピュ ータが通信ネットワークを介して接続された発明届出承 辺システムにおいて、

前記第1のコンピュータは、

発明者が作成した特許出顧用明細書の原稿データを入力 する原稿作成手段と、

該原稿作成手段により入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを前記第2のコン ヒュータに送信する登録手段と、

前記登録手段により送信された原稿データを特定するた めの発明属出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認体制手段と、

前記確認依報通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記確認依頼通知に含まれる発明届出情報と同 ヒ発明属出情報を含む承認依頼通知を上可宛に行う承認 依頼手段とを備え;前記第2のコンピュータは、

前記第1のコンピュータから送信される順稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶する記憶手段を備え;前記第3のコンピュータ は、

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段か ら読み込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記他の発明者の 指示に応答して、該表示された原稿データと対応づけて 確認済情報を前記記憶手段に記憶させる確認手段とを備 え:前監第4のコンピュータは、

前記上司宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み 込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記上司の指示に 前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 50 応答して、該表示された原稿データを修正し、該修正さ れた原稿データと対応づけて承認済情報を前記記憶手段 に記憶させる承認手段とを備えたことを特徴とする発明 届出承収システム。

【謝求項8】 第1、第2、第3および第4のコンピュ ータが通信ネットワークを介して接続された発明届出承 記システムにおいて、

前記第1のコンピュータは、

売明者が作成した特許出顧用明報書の原稿データを入力 する風積作成手段と、

蔵原稿作成手段により入力された原稿データと該原稿デ 10 ータを特定するための発明届出情報とを前記第2のコン ビュータに送信する登録手段と、

前記登録手段により送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認法領手段と、

前記違認依頼通知に基づく前配他の発明者による確認の 完了後、前記確認依頼通知に含まれる発明届出情報と同 じ発明届出情報を含む承認依頼通知を上司宛に行う承認 依頼手段とを備え;前配第2のコンピュータは、

原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶する記憶手段を備え;前記第3のコンピュータ

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する原稿データを前型記憶手段か ら誰み込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記他の発明者の 指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該 修正された原稿データと対応づけて確認済情報を前記記 位手段に記憶させる確認手段とを構え;前記第4のコン 30 ピュータは、

前記上司宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み 込んで表示する表示手段と、

前記表示された原稿データを確認した前記上司の指示に 広答して、跋衷示された原稿データを修正し、跋修正さ れた原稿データと対応づけて承認済情報を前記記憶手段 に記憶させる承認手段とを備えたことを特徴とする発明 届出承収システム。

【請求項9】 発明者が作成した特許出顧用明細書の原 40 稍データを第1のコンピュータに入力する原稿作成ステ

該原稿作ステップで入力された原稿データと該原稿デー タを特定するための発明届出情報とを前配第1のコンピ ュータから第2のコンピュータに送信する登録ステップ ٤.

前記登録ステップで前記第1のコンピュータから送信さ れる原稿データと該原稿データを特定するための発明届 出情報とを対応づけて前記第2のコンピュータの記憶手 段に記憶する記憶ステップと、

前記登録ステップで送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む承認依頼通知を前配第1のコン ピュータから前記発明者の上可宛に行う承認依頼ステッ **アと、** 

前記上可宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前部記憶手段から第3 のコンピュータに読み込んで表示する表示ステップと、 前記表示ステップで表示された原稿データを確認した前 記上司の指示に応答して、前記第3のコンピュータが該 表示された原稿データと対応づけて承認済情報を前配記 値手段に配位させる承認ステップとを含むことを特徴と する発明届出承認方法。

発明者が作成した特許出顧用明細書 【誰求項10】 の回稿データを第1のコンピュータに入力する原稿作成 ステップと、

該面稿作成ステップで入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを前記第1のコン ピュータから第2のコンピュータに送信する登録ステッ プと、

前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 20 前記前記登録ステップで第1のコンピュータから送信さ れる原稿データと該原稿データを特定するための発明届 出情報とを対応づけて前記第2のコンピュータの記憶手 段に記憶する記憶ステップと、

> 前記登録ステップで送信された回稿データを特定するた めの発明届出情報を含む承認依頼通知を前記発明者の上 可宛に行う承認依頼ステップと、

> 前記 ト可宛の前記承収依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から第3 のコンピュータに読み込んで表示する表示ステップと、

前記表示された原稿データを確認した前記上司の指示に 広答して、前記第3のコンピュータが勧表示された原稿 データを修正し、該修正された原稿データと対応づけて **承認法情報を前温を強手段に記憶させる承認ステップと** を含むことを特徴とする発明届出承認方法。

【請求項11】 発明者が作成した特許出顧用明細書の 原稿データを第1のコンピュータに入力する原稿作成ス テップと、

該原務作成ステップで入力された原務データと該原務デ ータを特定するための発明届出情報とを前配第1のコン ピュータから第2のコンピュータに送信する登録ステッ **アと、** 

.前記登録ステップで前記第1のコンピュータから送信さ. れる原稿データと該原稿データを特定するための発明展 出情報とを対応づけて第2のコンピュータの記憶手段に 記憶する記憶ステップと、

前記登録ステップで送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼ステップと、

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明福 出情報に基づいて対応する取稿データを前記記憶手段か

ら第3のコンピュータに読み込んで表示する表示ステッ **プと、** 

前記表示ステップで表示された原稿データを確認した前 記他の発明者の指示に応答して、前記第3のコンピュー タが該表示された原稿データと対応づけて確認済情報を 前記記憶手段に記憶させる確認ステップとを含むことを 特徴とする発明届出承認方法。

【論求項12】 発明者が作成した特許出顧用明細書の 原稿データを第1のコンピュータに入力する原稿作成ス テップと、

盆原稿作成ステップで入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを前記第1のコン ピュータから第2のコンピュータに送信する登録ステッ **プと、** 

前記登録ステップで前記第1のコンピュータから送信さ れる原稿データと鉄原稿データを特定するための発明届 出情報とを対応づけて第2のコンピュータの記憶手段に 記憶する記憶ステップと、

前記登録ステップで送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 20 行う確認依頼ステップと前記憶の発明者宛の前記確認依 製造知に含まれる発明届出情報に基づいて対応する原稿 データを前を温度手段から第3のコンピュータに読み込 んで表示する表示ステップと、

前記表示ステップで表示された順稿データを確認した前 記他の発明者の指示に応答して、前記第3のコンピュー タが該表示された原稿データを修正し、 該修正された原 第データと対応づけて確認済情報を前記記憶手段に記憶 させる確認ステップとを含むことを特徴とする発明属出 承認方法。

【請求項13】 発明者が作成した特許出顧用明維書の 原稿データを第1のコンピュータに入力する原稿作成ス テップと、

該原稿作成ステップで入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明層出情報とを前記第1のコン ビュータから第2のコンピュータに送信する登録ステッ プと、

前記登録ステップで第1のコンピュータから送信される 原稿データと該原稿データを特定するための発明届出情 報とを対応づけて第2のコンピュータの記憶手段に記憶 する記憶ステップと、

前記登録ステップで送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼ステップと、

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明屋 出情報に基づいて対応する原稿データを前配記憶手段か ら第3のコンピュータに読み込んで表示する第1の表示 ステップと、

前記第1の表示ステップで表示された原稿データを確認 した前記他の発明者の指示に応答して、前記第3のコン 50 プと、

ヒュータが試表示された原稿データと対応づけて確認済 情報を前記記住手段に記憶させる確認ステップと、

前記確認依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記確認依根道知に含まれる発明届出情報と同 じ発明国出情報を含む承認依頼通知を上可宛に行う承認 佐頼ステップと、

前記上可宛の前記承認依頼通知に含まれる発明属出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から第4 のコンピュータに読み込んで表示する第2の表示ステッ 10 プと、

前記第2の表示ステップで表示された原稿データを確認 した前記上司の指示に応答して、前記第4のコンピュー タが触表示された原稿データと対応づけて承認済情報を 前温温性手段に記憶させる承認ステップとを含むことを 特徴とする発明届出承認方法。

【論求項14】 発明者が作成した特許出顧用明練書の 順稿データを第1のコンピュータに入力する原稿作成ス テップと、

該原稿作成ステップで入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを前記第1のコン ピュータから第2のコンピュータに送信する登録ステッ **プと、** 

前記登録ステップで前記第1のコンピュータから送信さ れる原稿データと該原稿データを特定するための発明届 出情報とを対応づけて第2のコンピュータの記憶手段に 記憶する記憶ステップと、

前記登録ステップで送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼ステップと、

30 前記確認依報通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記確認依釈道知に含まれる発明届出情報と同 と発明届出情報を含む承認依頼運知を上可宛に行う承認 佐賀ステップと、

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明証 出情報に基づいて対応する原稿データを前配記録手段か ら第3のコンピュータに読み込んで表示する第1の表示 ステップと、

前記第1の表示ステップで表示された原稿データを確認 した前記他の発明者の指示に応答して、前記第3のコン ヒュータが該表示された取稿データを修正し、該修正さ れた原稿データと対応づけて確認済情報を前記記憶手段 に記憶させる確認ステップと、

前記導図依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記確認依頼通知に含まれる発明届出情報と同 じ発明届出情報を含む承認依頼通知を上司宛に行う承認 依頼ステップと、

前記上可宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から第4 のコンピュータに読み込んで表示する第2の表示ステッ

前記第2の表示ステップで表示された原稿データを確認 した前記上町の指示に応答して、前配第4のコンピュー タが註表示された風積データと対応づけて承認済情報を 前部記憶手段に記憶させる承認ステップとを含むことを 特徴とする発明届出承認方法。

【館求項15】 発明者が作成した特計出願用明細書の 原稿データを第1のコンピュータに入力する原稿作成ス テップと

該原稿作成ステップで入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを前配第1のコン 10 ピュータから第2のコンピュータに送信する登録ステッ **プと、** 

前記登録ステップで前記第1のコンピュータから送信さ れる原稿データと該原稿データを特定するための発明届 出情報とを対応づけて第2のコンピュータの記憶手段に 記憶する記憶ステップと、

前記登録ステップで送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼ステップと、

完了後、前配確認依頼通知に含まれる発明居出情報と同 じ発明届出情報を含む承認依頼通知を上司宛に行う承認 依頼ステップと、

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段か ら第3のコンピュータに読み込んで表示する第1の表示 ステップと、

前記第1の表示ステップで表示された原稿データを確認 した前記他の発明者の指示に応答して、前記第3のコン ビュータが該表示された原稿データと対応づけて確認済 30 プと、 情報を前部法律手段に記憶させる確認ステップと、

前記確認依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記確認依頼通知に含まれる発明届出情報と同 じ発明届出情報を含む承認依頼通知を上可宛に行う承認 佐賀ステップと、

前記上可宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原務データを前置記憶手段から第4 のコンピュータに読み込んで表示する第2の表示ステッ **プと、** 

した前記上町の指示に応答して、前記第4のコンピュー タが該表示された原稿データを修正し、 該修正された原 第データと対応づけて承認済情報を前記記憶手段に記憶 させる承認ステップとを含むことを特徴とする発明届出 承認方法。

【請求項16】 発明者が作成した特許出題用明細書の 原稿データを第1のコンピュータに入力する原稿作成ス テップと、

該原稿作成ステップで入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明屈出情報とを前記第1のコン 50 て記憶手段に記憶する記憶処理を第2のコンピュータに

1 0

ピュータから第2のコンピュータに送信する登録ステッ **プと、** 

前記登録ステップで前記第1のコンピュータから送信さ れる原稿データと該原稿データを特定するための発明国 出情報とを対応づけて第2のコンピュータの記憶手段に 配位する配位ステップと、

前記登録ステップで送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼ステップと、

前記確認依領通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記建認依頼通知に含まれる発明届出情報と同 じ発明届出情報を含む承認依頼通知を上可宛に行う承認 依頼ステップと、

前記他の発明者宛の前記違認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する原稿データを前距配値手段か ら第3のコンピュータに整み込んで表示する第1の表示 ステップと、

前記第1の表示ステップで表示された順務データを確認 した前記他の発明者の指示に応答して、前記第3のコン 前記確認依假通知に基づく前記他の発明者による確認の 20 ピュータが該表示された原稿データを修正し、該修正さ れた原稿データと対応づけて確認済情報を前部記憶手段 に記憶させる確認ステップと、

> 前記確認依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了特。前記確認依賴遺知に含まれる発明届出情報と同 と発明届出情報を含む承認依頼通知を上可宛に行う承認 依頼ステップと、

> 前記上可宛の前記承叙依頼通知に合まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から第4 のコンピュータに読み込んで表示する第2の表示ステッ

> 前記第2の表示ステップで表示された風稿データを確認 した前記上可の指示に応答して、前記第4のコンピュー タが財表示された原稿データを修正し、政修正された原 前データと対応づけて承認済情報を前記記憶手段に記憶 させる承包ステップとを含むことを特徴とする発明届出 承载方法。

【謝求項17】 発明者が作成した特許出顧用明編書の 面積データを入力する回稿作成処理を第1のコンピュー 夕に行わせ、、

前記第2の表示ステップで表示された原稿データを確認 40 計算務件或処理により入力された原稿データと計算稿デ ータを特定するための発明漏出情報とを第2のコンピュ ·--タに送信する登録処理を首配第1のコンピュータに行 わせ、

> 前記登録処理により送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む承認依頼通知を剪配発明者の上 可宛に行う承認依頼処理を前配第1のコンピュータに行 わせ、

前記第1のコンピュータから送信される風荷データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ

行わせ、

前記上可宛の前記承認依根通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前配配性手段から読み 込んで表示する表示処理を第3のコンピュータに行わ せ、

11

前記表示された原稿データを確認した前記上可の指示に 応答して、該表示された原稿データと対応づけて承認済 情報を前記記憶手段に記憶させる承認処理を前記第3の コンピュータに行わせるプログラムを記録したことを特 後とする記録媒体。

【論求項18】 発明者が作成した特許出顧用明維書の 原稿データを入力する原稿作成処理を第1のコンピュー クに行わせ、、

越原稿作成処理により入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを第2のコンピュ ータに送信する登録処理を前配第1のコンピュータに行 わせ、

前記登録処理により送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む承認依頼通知を前記発明者の上 可宛に行う承認依頼処理を前配第1のコンピュータに行 20

前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て配信手段に配信する配信処理を第2のコンピュータに 行力计。

前記上可宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み 込んで表示する表示処理を第3のコンピュータに行わ せ、

前記表示された原稿データを確認した前記上可の指示に 30 応答して、該表示された原稿データを修正し、該修正さ れた風稿データと対応づけて承認済情報を前記記憶手段 に記憶させる承認処理を前記第3のコンピュータに行わ せるプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項19】 発明者が作成した特許出顧用明細書の 原稿データを入力する原稿作成処理を第1のコンピュー 夕に行わせ、

該原稿作成処理により入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを第2のコンピュ **一夕に送信する登録登録処理を前記第1のコンピュータ** に行わせ、

前記登録処理により送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、 前記第1のコンピュータから送信される取稿データと該 順稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶手段に記憶する記憶処理を第2のコンピュータに 行わせ、

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明属 出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段か 50 前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明層

12 ら第3のコンピュータに読み込んで表示する表示処理を 首記第3のコンピュータに行わせ、

前記表示された原稿データを確認した前記他の発明者の 指示に応答して、散表示された原稿データと対応づけて 確認法情報を前記記憶手段に記憶させる確認処理を前記 第3のコンピュータに行わせるプログラムを記録したこ とを特徴とする記録媒体。

【論求項20】 発明者が作成した特許出顧用明細書の 原稿データを入力する原稿作成処理を第1のコンピュー 10 夕に行わせ、

該取稿作成処理により入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを第2のコンピュ ータに送信する登録登録処理を前配第1のコンピュータ に行わせ、

前記者似処理により送信された原稿データを特定するた めの発明国出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、 前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶手段に記憶する記憶処理を第2のコンピュータに 行わせ、

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明局 出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段か ら第3のコンピュータに読み込んで表示する表示処理を 首記第3のコンピュータに行わせ、

前記表示された原稿データを確認した前記他の発明者の 指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該 修正された原稿データと対応づけて確認済情報を前記記 使手段に記憶させる確認処理を前記第3のコンピュータ に行わせるプログラムを記録したことを特徴とする記録 媒体。

【論求項21】 発明者が作成した特許出顧用明細書の 原稿データを入力する原稿作成処理を第1のコンピュー 夕に行わせ、

該原稿作成処理により入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを第2のコンピュ ータに送信する登録処理を前記第1のコンピュータに行 わせ、

前記登録処理により送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼運知を他の発明者宛に 行う確認依頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、 .前記項数依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記確認体制通知に含まれる発明届出情報と同 じ発明国出情報を含む承認依頼通知を上司宛に行う承認 佐頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、

前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶手段に記憶する記憶処理を前記第2のコンピュー 夕に行わせ、

出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段か ら證み込んで表示する第1の表示処理を第3のコンピュ ータに行わせ、

前記第1の表示処理で表示された原稿データを確認した 前書他の発明者の指示に広答して、該表示された原稿デ ータと対応づけて確認済情報を前記記憶手段に記憶させ る承認処理を前記第3のコンピュータに行わせ、

前記上司宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前室記憶手段から読み 込んで表示する第2の表示処理を第4のコンピュータに 10 行力せ、

前記第2の表示処理により表示された原稿データを確認 した前記上司の指示に応答して、該表示された原稿デー タと対応づけて承認済情報を前部記憶手段に記憶させる 承認処理を前配第4のコンピュータに行わせるプログラ ムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【讃求項22】 発明者が作成した特許出顧用明細書の 原稿データを入力する原稿作成処理を第1のコンピュー 夕に行わせ、

該原務作成処理により入力された原稿データと該原稿デ 20 ータを特定するための発明届出情報とを第2のコンピュ ータに送信する登録処理を前記第1のコンピュータに行

前記登録処理により送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、 前記確認依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の

完了後、前記確認依頼通知に含まれる発明届出情報と同 じ発明届出情報を含む承認依頼通知を上司宛に行う承認 佐頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、

前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶手段に記憶する記憶処理を前記第2のコンピュー 夕に行わせ、

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段か ら読み込んで表示する第1の表示処理を第3のコンピュ ータに行わせ、

前記第1の表示処理で表示された原稿データを確認した 前記他の発明者の指示に応答して、該表示された原稿デ 40 ータを修正し、 就修正された原稿データと対応づけて確 認済情報を前記記位手段に記憶させる承認処理を前記第 3のコンピュータに行わせ、

前記上司宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前置配億手段から読み 込んで表示する第2の表示処理を第4のコンピュータに fibt.

前記第2の表示処理により表示された原稿データを確認 した前記上司の指示に広答して、該表示された原稿デー タと対応づけて承認済情報を前記記憶手段に記憶させる 50 完了後、前記確認依頼通知に含まれる発明届出情報と同

14

承認処理を前記第4のコンピュータに行わせるプログラ ムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項23】 発明者が作成した特許出顧用明細書の 原稿データを入力する原稿作成処理を第1のコンピュー 夕に行わせ、

該原稿作成処理により入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを第2のコンピュ ータに送信する登録処理を前記第1のコンピュータに行 わせ、

前記登録処理により送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、 前記確認依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の 完了後、前記項忽依領通知に含まれる発明届出情報と同 と発明届出情報を含む承認依頼通知を上可宛に行う承認 依頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、

前記第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出信報とを対応づけ て記憶手段に記憶する記憶処理を前記第2のコンピュー 夕に行わせ、

前記他の発明者宛の前記確認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する直稿データを前記記憶手段か ら読み込んで表示する第1の表示処理を第3のコンピュ ータに行わせ、

前記第1の表示処理で表示された原稿データを確認した 前記他の発明者の指示に応答して、該表示された原稿デ ータと対応づけて確認済情報を前記記憶手段に記憶させ る承認処理を前記第3のコンピュータに行わせ、

前記上可宛の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報 30 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み 込んで表示する第2の表示処理を第4のコンピュータに

前記第2の表示処理により表示された原稿データを確認 した前記上司の指示に応答して、該表示された原稿デー タを修正し、鉄修正された原稿データと対応づけて承認 済情報を前き記憶手段に記憶させる承認処理を前記第4 のコンピュータに行わせるプログラムを記録したことを 特徴とする記録媒体。

【請求項24】 発明者が作成した特許出願用明細書の 原稿データを入力する原稿作成処理を第1のコンピュー 夕に行わせ、

。該原稿作成処理により入力された原稿データと該原稿デ ータを特定するための発明届出情報とを第2のコンピュ ータに送信する登録処理を前配第1のコンピュータに行 わせ、

前記登録処理により送信された原稿データを特定するた めの発明届出情報を含む確認依頼通知を他の発明者宛に 行う確認依頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、 前記確認依頼通知に基づく前記他の発明者による確認の じ発明届出情報を含む承認依頼通知を上可宛に行う承認 依頼処理を前記第1のコンピュータに行わせ、

前配第1のコンピュータから送信される原稿データと該 原稿データを特定するための発明届出情報とを対応づけ て記憶手段に記憶する記憶処理を前記第2のコンピュー タに行わせ、

前配他の発明者宛の前配確認依頼通知に含まれる発明届 出情報に基づいて対応する原稿データを前配記憶手段か ら読み込んで表示する第1の表示処理を第3のコンピュ ータに行わせ、

前記第1の表示処理で表示された原稿データを確認した 前記他の発明者の指示に応答して、該表示された原稿デ ータを修正し、該修正された原稿データと対応づけて確 認済情報を前記記憶手段に記憶させる承認処理を前記第 3のコンピュータに行わせ、

前記上可宛の前記录認依頼通知に含まれる発明届出情報 に基づいて対応する原稿データを前記記憶手段から読み 込んで表示する第2の表示処理を第4のコンピュータに 行わせ、

前記第2の表示処理により表示された原稿データを確認 20 した前記上町の指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該修正された原稿データと対応づけて承認 済情報を前記記憶手段に記憶させる承認処理を前記第4 のコンピュータに行わせるプログラムを記録したことを 特徴とする記録媒体。

【請求項25】請求項17乃至24のいずれかに記載の 前記プログラムを複数の部分に分割して該複数の部分を それぞれ複数の記録媒体に記録してなる記録媒体群。

【請求項26】前記第1のコンピュータと前記第3のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴と 30 する請求項1乃至4のいずれかに記載の発明届出承認シュテム

【請求項27】前記第1のコンピュータと前記第3のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする請求項9乃至12のいずれかに記載の発明展出承認方法。

【請求項28】前記第1のコンピュータと前記第3のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする請求項17乃至20のいずれかに記載の記録媒体。

【諸求項29】前記第1のコンピュータと前記第3およ 40 び第4のコンピュータの少なくとも一つとは同一のコン ピュータであることを特徴とする請求項5万至8のいず れかに記載の発明届出承認システム。

【請求項30】前配第1のコンピュータと前記第3および第4のコンピュータの少なくとも一つとは同一のコンピュータであることを特徴とする請求項13乃至16のいずれかに記載の発明届出承認方法。

【請求項31】前配第1のコンピュータと前配第3およ の上司による確認、他 び第4のコンピュータの少なくとも一つとは同一のコン 的に効率よく行うこと ピュータであることを特徴とする請求項21乃至25の 50 提供することにある。

いずれかに記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は特許出顧用明維書属 出承認システムに関し、特に、インタネット等の通信ネットワークに接続された複数のコンピュータを発明者お よび承認を行う上司が使用して特許出顧用明維書の届出 を行う特許出顧用明維書届出承認システムに関する。 【0002】

16

10 【従来の技術】従来の工業所有権に係る書誌的データの 管理システムの一例が、特徴平9-91349号公報に 記載されている。この従来の書誌的データの管理システ ムは、代理人側コンピュータと、依頼人側コンピュータ とを備えている。さらに、代理人側コンピュータは、入 力部と、送信部と、代理人側は対データ記憶手段と、代 理人側は対データ更新手段とを備え、依頼人側コンピュ ータは、依頼人側経緯データ記憶手段と、受信部と、依 類人側経緯データ更新手段とを備えている。

【0003】このような構成を有する従来の書話的デー 0 タの管理システムはつぎのように動作する。

【0004】すなわち、代理人関コンピュータにおいて、まず、入力部が、工業所有権に関する手続のうち、代理人がなした手後の書誌的事項を入力し、送信部が、該入力部から入力された書誌的事項の中の変化情報と案件の整理番号とを含む変化情報データを回線に送信するとともに、代理人概経緯データ更新手段が、代理人概経緯データ記憶手段に記憶されている、案件毎の手続の書誌的事項をまとめた経緯データを、入力部により入力された書誌的事項に基づいて更新している。

0 【0005】一方、依頼人側コンピュータにおいては、 受信部が、代理人側コンピュータにより回線に送信された変化情報データを受信し、依頼人側経緯データ更新手段が、依頼人側経緯データ記憶手段に記憶されている、 案件毎の手続の書誌的事項をまとめた経緯データを、受信部が受信した変化情報データに基づいて更新している。

[0006]

【発明が解決しようとする課題】上述した従来のシステムは、単に、代理人側コンピュータにおいて代理人が入力し代理人側超峰データ記憶手段に記憶した書誌的データを回線を介して依頼人側コンピュータに送り依頼人側 . 経緯データ記憶手段に記憶するものであって、発明者による特許出額用明細書の原稿データの作成および作成した原稿データの上刊による確認、修正および承認処理を電子的に行うものではない。

【0007】本発明の目的は、発明者による特許出順用 明細書の原稿データの作成処理から作成した原稿データ の上可による確認、修正および承認処理までを全て電子 的に効率よく行うことができる発明属出承認システムを 担保することにある 【0008】本発明の他の目的は、発明が複数の発明者により共同でなされた場合、発明者の一人が作成した該発明の特許出顧用明細書の原稿データを他の発明者に確認させ、必要であれば修正を行わせるといった一連の処理を全て電子的に効率よく行うことができる発明届出承認システムを提供することにある。

#### [0009]

【課題を解決するための手段】本発明の第1の発明届出 承認システムは、通信ネットワークを介して接続された 第1、第2および第3のコンピュータから構成される。 前記第1のコンピュータは、発明者が作成した特許出願 用明細書の原稿データを入力する原稿作成手段と、該原 稿作成手段により入力された原稿データと該原稿データ を特定するための発明届出情報とを前記第2のコンピュ 一夕に送信する登録手段と、前記登録手段により送信さ れた原稿データを特定するための発明届出情報を含む承 認依頼通知を前記発明者の上司宛に行う承認依頼手段と を備える。前記第2のコンピュータは、前記第1のコン ピュータから送信される原稿データと該原稿データを特 定するための発明届出情報とを対応づけて記憶する記憶 20 手段を備える。前配第3のコンピュータは、前配上可宛 の前記承認依頼通知に含まれる発明届出情報に基づいて 対応する原稿データを前配記憶手段から読み込んで表示 する表示手段と、前記表示された原稿データを確認した 前記上可の指示に応答して、該表示された原稿データと 対応づけて承認済情報を前配記憶手段に記憶させる承認 手段とを備える。

【0010】本発明の第2の発明届出承認システムは、 上述した第1のシステムにおける承認手段が、表示され た原稿データを確認した前記上司の指示に応答して、該 30 表示された原稿データを修正し、該修正された原稿デー タと対応づけて承認済情報を前記記憶手段に記憶させる よう構成されている。

【0011】本発明の第3の発明届出承認システムは、 通信ネットワークを介して接続された第1、第2および 第3のコンピュータから構成される。前記第1のコンピ ュータは、発明者が作成した特許出題用明細書の原稿デ ータを入力する原稿作成手段と、該原稿作成手段により 入力された原稿データと註原稿データを特定するための 発明届出情報とを前記第2のコンピュータに送信する登 40 録手段と、前記登録手段により送信された原稿データを 特定するための発明届出情報を含む確認依頼適知を他の 発明者宛に行う確認依頼手段とを備える。前記第2のコ ンピュータは、前配第1のコンピュータから送信される 原稿データと該原稿データを特定するための発明届出情 報とを対応づけて記憶する記憶手段を備える。前記第3 のコンピュータは、前記他の発明者宛の前記確認依頼通 知に含まれる発明届出情報に基づいて対応する原稿デー 夕を前記記憶手段から読み込んで表示する表示手段と、 前記表示された原稿データを確認した前記他の発明者の 50 させるよう構成される。

18 指示に応答して、該表示された原稿データと対応づけて

確認済情報を前記記憶手段に記憶させる確認手段とを備える。

【0012】本発明の第4の発明届出承認システムは、 上述した第3のシステムにおける確認手段が、表示された原稿データを確認した前記他の発明者の指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該修正された原稿データと対応づけて確認済情報を前記記憶手段に記憶させるよう構成される。

10 【0013】本発明の第5の発明届出承認システムは、 通信ネットワークを介して接続された第1、第2、第3 および第4のコンピュータから構成される。前記第1の コンピュータは、発明者が作成した特許出題用明確書の 原稿データを入力する原稿作成手段と、該原稿作成手段 により入力された原務データと該原務データを特定する ための発明届出情報とを前記第2のコンピュータに送信 する登録手段と、前記登録手段により送信された原稿デ ータを特定するための発明届出情報を含む確認依頼通知 を他の発明者宛に行う確認依頼手段と、前記確認依頼通 知に基づく前記他の発明者による確認の完了後、前記確 認依領遷知に含まれる発明届出情報と同じ発明届出情報 を含む承認依頼通知を上町宛に行う承認依頼手段とを備 える。前記第2のコンピュータは、前記第1のコンピュ ータから送信される原稿データと該原稿データを特定す るための発明届出情報とを対応づけて記憶する記憶手段 を備える。前記第3のコンピュータは、前記他の発明者 宛の前記確認依頼通知に含まれる発明届出情報に基づい て対応する原稿データを前配記憶手段から読み込んで表 示する表示手段と、前記表示された原稿データを確認し た前記他の発明者の指示に応答して、該表示された原稿 データと対応づけて確認済情報を前記記憶手段に記憶さ せる確認手段とを備える。前記第4のコンピュータは、 前記上可宛の前記承認依頼通知に含まれる発明居出情報 に基づいて対応する原稿データを前部記憶手段から読み 込んで表示する表示手段と、前記表示された原稿データ を確認した前記上可の指示に応答して、該表示された原 精データと対応づけて承認済情報を前部記憶手段に記憶 させる承認手段とを備える。

【0014】本発明の第6のシステムは、上述した第5のシステムにおける承認手段が、表示された原稿データを確認した前記上可の指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該修正された原稿データと対応づけて承認済情報を前記記憶手段に記憶させるよう構成される

【0015】本発明の第7の発明届出承認システムは、 上述した第5のシステムにおける確認手段が、表示された原稿データを確認した前記他の発明者の指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該修正された原稿データと対応づけて確認済情報を前記記憶手段に記憶させるよう構成される。 【0016】本発明の第8の発明届出承認システムは、 上述した第5のシステムにおける承認手段が、表示された原稿データを確認した前記上町の指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該修正された原稿データと対応づけて承認法情報を前記記憶手段に記憶させよう構成されるとともに、確認手段が、表示された原稿データを確認した前記他の発明者の指示に応答して、該表示された原稿データを修正し、該修正された原稿データと対応づけて確認法情報を前記記憶手段に記憶させるよう機成される。

19

[0017]

【発明の実施の形態】次に、本発明について図画を参照 して詳細に説明する。なお、各図画において、同一の参 照符号は同一の構成要素を示している。

【0018】まず、本発明の第1の実施の形態について 詳細に設明する。

【0019】図1を参照すると、本発明の第1の実施の 形態は、サーバコンピュータ100と、クライアントコ ンピュータ110、120および130とから構成され ている。これらのコンピュータ100、110、120 20 および130はプログラム制御により動作し、インター ネット等の通信ネットワークを介して相互に接続されて いる。

【0020】クライアントコンピュータ110および1 20は、原稿作成手段111および121と、発明届出 情報登録手段112および122と、承認依頼手段11 3および123とをそれぞれ合む。

【0021】原稿作成手段111および121の各々は、企業の従業員等(以下、「発明者」という。)が職務上なした発明をその企業内の特許出顧処理担当部門に 30届け出るために発明者が作成する特許出顧用明確書の原稿データ(以下、「明確書原稿データ」という。)の作成に使用される。

【0022】発明届出情報登録手段112および122の各々は、発明者が、販務作成手段111または121により作成された明確書原稿データに係る(該原稿データを特定するための)発明届出情報(整理番号、発明者名、発明者の社員番号、発明の名称等が含まれる)をサーバコンピュータ100の記憶手段101に登録するために使用される。

【0023】承認依限手段113および123の各々は、発明者が作成した発明届出情報および明細書取務データの承認を、クライアントコンピュータ130を使用する当該発明者の上司に、依頼するためのものである。【0024】サーバコンピュータ100は記憶手段101を備え、この記憶手段101には、明細書取稿データが格納される包袋ファイル102と、包袋ファイル102に格納された明細書取稿データに係る発明届出情報が格納される包袋ファイル管理テーブル103とが設けられている。

【0025】クライアントコンピュータ130は、表示手段131と、修正手段132と、承認手段133とを備えている。

【0026】表示手段131は、上可に発明者から承認 依頼がなされている発明属出情報および明確書原稿デー タを、サーバコンピュータ100の記憶手段101から 取り出して表示装置(因示せず)の表示画面上に表示す るためのものである。

【0027】修正手段132は、上可が発明届出情報ま 10 たは明細書原稿データの内容に修正すべき点を見つけた 場合に、上可からの指示を受けて内容の修正処理を行う ためのものである。

【0028】承認手段133は、発明届出情報および明 網書原稿データの内容に修正すべき点がない場合または 修正手段132による内容の修正を終えた場合に、上可 からの指示を受けて発明届出情報および明細書原稿デー タの承認処理を行うためのものである。

【0029】なお、本実施の形態では、発明者が使用するクライアントコンピュータとして2台のみを示しているが、発明者の数に応じて任意の台数のクライアントコンピュータを被数の発明者(共同発明者を含む)の間で、または、発明者と上司との間で共用するようにしてもよい。なお、発明者と上司とで共用する場合には、当然のことながら、上記各手段を全て1台のコンピュータに設ける必要がある。

【0030】次に、図2および図3を参照して本実施の 形態の動作について詳細に説明する。

【0031】まず、図2を参照して、本実施の形態におけるクライアントコンピュータ110の動作について説明する。なお、クライアントコンピュータ120もクライアントコンピュータ110と同様の動作をするためその詳細な説明は省略する。

【0032】クライアントコンピュータ110において、原務作成手段111は、公知のワードプロセッサ等の文書作成ソフトウェアを起動し、該ソフトウェアを使用して発明者に特許出謝用明練書の文書データを作成させるとともに、公知の指面ソフトウェアを起動し、該ソフトウェアを使用して発明者に図面データを作成させ

30 る。発明者は、該文書作成ソフトウェアを使用して文書 データに図面データを挿入する(貼り付ける)ことによ り文書データと図面データとが合成された明細書取稿デ ータを作成する。原稿作成手段111は、この原稿デー タに該発明者が指定するファイル名を付して外都配憶装 置(図示せず)に格納する(図2のステップ201)。 【0033】一方、発明届出情報登録手段112は、明 細書原稿データの整理番号(すなわち、発明届出の整理 番号)、該原稿データを作成した発明者の名前(発明者 名)および発明の名科等の発明の届出に必要な発明届出 情報と該原稿データのファイル名とを発明者に入力させ

るための発明届出情報入力画面を表示装置(図示せず) に表示し、発明者によるそれらの情報の入力を待ち合わ せる。ここで、発明届出の整理番号は所定の規則に基づ いて付与される番号(例えば、発明の届出の早い順に付 与される連続番号)である。この番号は発明者が入力す るのではなく、発明届出情報登録手段112が自動採番 して発明届出情報入力画面に自動的に設定するようにし

【0034】発明届出情報入力画面の一例を図7に示 す.

【0035】 図において、この入力画画10には、発明 届出情報およびファイル名を入力するための各入力フィ ールド、すなわち、原稿データの整理番号(発明届出の 整理番号)が入力される整理番号入力フィールド11 と、特許出版する発明の名称が入力される発明の名称入 カフィールド12と、発明者の社員番号、名前、電話番 号 (内線および外線)、電子メールアドレスおよび所属 割門がそれぞれ入力される社員番号入力フィールド1 3、発明者名入力フィールド14、電話番号入力フィー ルド15、電子メールアドレス入力フィールド16およ 20 び所属部門入力フィールド17と、原稿データのファイ ル名が入力されるファイル名入力フィールド18とが設 けられている.

【0036】発明届出情報登録手段112は、この発明 届出情報入力画面10に明確書原稿データの発明届出情 報および鼓原稿データのファイル名が発明者により入力 されると、設ファイル名に対応する原稿データを上記外 都配位装置から読み出し、該原稿データの発明届出情報 とともにサーバコンピュータ100に送信する (ステッ

【0037】次に、サーバコンピュータ100におい て、クライアントコンピュータ110内の発明届出情報 登録手段112から送信された明媚書原稿データと該原 幕データの発明届出情報とが受信され、これらが対応付 けられて記憶手段101に登録される。

【0038】この登録処理の具体例としては、原稿デー タを記憶手段101内の包袋ファイル102に格納する とともに、その格納アドレスと発明国出情報とを対応付 ける包袋ファイル管理テーブル103を包袋ファイル1 02に設ける方法を挙げることができる。

【0039】 図8はこのような包袋ファイル管理テーブ ル103の一例を示す。

【0040】 図において、テーブル103は複数の発明 届出情報を登録するための複数のエントリから構成さ れ、各エントリは発明届出情報を構成する整理番号、発 明の名称、発明者名、社員番号、所属都門および電話番 号等がそれぞれ登録されるフィールド21~26と、当 **該発明届出情報に係る原務データの包袋ファイル102** 内の格納アドレスが登録されるフィールド27と、承認 依頼状況フィールド28と、承認状況フィールド29と 50 ントリー内の発明届出情報を読み込むとともに、当該エ

から構成される。

【0041】上記の登録処理の他の具体例としては、発 明居出情報と原稿データとをまとめて1ディレクトリ (ファイル)配下に格納し、クライアントコンピュータ 110を使用する発明者とクライアントコンピュータ1 30を使用する上司の双方が鼓脈稿データを一意に認識 することができるディレクトリ (ファイル) 名、例えば 鼓発明届出情報に含まれる整理番号をディレクトリ(フ ァイル) 名として付して包袋ファイル102に登録する 10 といった方法が考えられる。

22

【0042】以上のようにして登録手段112による登 经が終了すると、 クライアントコンピュータ110の承 包依領手段113は、発明者の指示により、発明届出情 報および明媚書原稿データの登録が完了した旨を当該発 明者の上町に通知し、 サーバコンピュータ100の配位 手段101内の包袋ファイル102に格納された明維書 原稿データの承認を依頼する(ステップ203)。この とき、発明者から上司に通知される内容には、承認を依 難したい発明屈出情報のうちの少なくとも一部(以下の 説明では、これは「整理香号」であるとする。)が含ま れる。承包依頼手段113は、さらに、当該発明届出情 報に対応する管理テーブル103のエントリーの承認依 製状況フィールド28に"済"を登録するようコンピュ ータ100にも適知をする。(ステップ204)。

【0043】ここで、上町への承認依頼通知は、電子メ ール等の適当な適知手段を利用できる。例えば、電子メ ールを使用する場合には、この承認依頼の電子メールの 宛先アドレス (すなわち、上可の電子メールアドレス) は、発明者が直接入力するようにしてもよいし、また

30 は、社員関の上下関係(上可と該上可の部下との対応づ け)とともにその会社の全社員の名前と社員番号と電子 メール・アドレスとが対応づけられて登録されている電 子メール・アドレス・データペースを予め用意しこのデ ータベースを発明者の社員番号をもとに検索しその上司 の電子メールアドレスを取得して自動的に設定するよう たしてもよい.

【0044】以後の説明では電子メールを使用して各種 の通知を行うものとする。

【0045】次に、以上のような承認依頼に応答してク ライアントコンピュータ130が行う動作について、図 3を参照して説明する。

.【0046】承認依頼の通知を受けた上旬が該当する明 網書原稿データおよびその発明届出情報の内容の表示を 指示すると、クライアントコンピュータ130の表示手 段131は、サーバコンピュータ100の配位手段10 1内の管理テーブル103を参照し、この管理テーブル 103のエントリーのうちの、承認依頼の電子メールに 合まれる整理番号と一致する整理番号が整理番号フィー ルド21に登録されているエントリーを特定し、そのエ ントリーの原稿データ格納アドレスフィールド27に登録されている格納アドレスに基づき明細書原稿データを包袋ファイル102から読み込み、読み込んだその明組書原稿データおよび発明届出情報を画面上に表示し(図3のステップ301)たあと、その内容に修正すべき点があるかどうかについて上司による指示を待つ(ステップ302)。

【0047】ここで、上司が発明届出情報または明細書 原稿データの内容について修正すべき点があると判断す ると、修正手段132は上町の指示に従って発明漏出情 10 様または/および明細書原稿データに修正を加える(ス テップ303)。上可が修正点はないと判断するまでス テップ302における判断、ステップ303における修 正は繰り返され、上司が修正点はないと判断すると、上 司の指示により承認手段133が承認を行う(ステップ 304)。承認は、具体的には、承認手段133から承 認すべき発明届出情報の整理番号を含む承認指令をサー パコンピュータ100に送り、これに応答して、コンピ ュータ100が管理テーブル103を検索し、承認指令 に含まれる整理番号と一致する整理番号が整理番号フィ ールド21に登録されているエントリーを特定し、その エントリー内の承認状況フィールド29に" 済" を登録 することにより行う。また、発明属出情報に修正があっ た場合には、承認手段133がこの修正情報も承認指令 とともにコンピュータ100に送り、これに応答して、 コンピュータ100が整理番号に基づき管理テーブル1 03内の該当エントリを特定し、その発明届出情報を修 正情報により修正する。さらに、明細書原稿データに修 正があった場合には、承認手段133が修正した明練書 順稿データを承認指令とともにコンピュータ100に送 30 り、これに応答して、コンピュータ100が修正済明細 書原稿データを包袋ファイル102内の適当な場所に格 納するとともに、整理番号に基づき管理テーブル103 内の該当エントリを特定し、そのエントリー内の取稿デ ータ格納アドレスフィールド27の内容 (現在は発明者 の作成した明媚書原稿データの格納アドレスが格納され ている。)を修正済明備書原稿データのファイル102 内の格納アドレスで更新登録する。これは修正前の明期 書原稿データが修正後の明細書原稿データで置換された ことを意味する。修正後の明確書原稿データで修正前の 40 明細書原稿データを置換するのではなく、修正後の明維 書原稿データを修正前の明細書原稿データに追加するよ うにしてもよい。この場合には、管理テーブル103の 原稿データ格納アドレスフィールド27を各エントリに つき複数個投げればよい。このようにすることにより、 発明者が最初に作成した明細書原稿データとこの原稿デ ータを上町が修正した修正済明細書原稿データとの双方 が登録されたことになる。

【0048】このようにして上司の承認が終わると、社 内の特許出願処理担当額門において、承認の終わった明 50

福書原稿データおよびその発明届出情報を参照し、特許 庁に出願するための明細書が作成され、特許庁に出願さ れる。

24

【0049】本実施の形態では、明顯書原稿を作成した 発明者が自ら該明顯書原稿を携えて上旬の元へ直接出向 き、該上司に該明顯書原稿の確認、修正および承認処理 を依頼していた従来に比べて、明顯書原稿の作成から上 旬の承認までの処理を全て電子的に行うため、該処理を 効率よく実施することができるという効果がある。

[0 【0050】次に、本発明の第2の実施の形態について 図面を参照して詳細に説明する。

【0051】 図4を参照すると、本発明の第2の実施の 形態は、サーバコンピュータ100と、クライアントコ ンピュータ110、120および130とから構成され ている。これらのコンピュータ100、110、120 および130はプログラム制御により動作し、インター ネット等の通信ネットワークを介して相互に接続されて いる。

【0052】本実施の形態は、一つの発明が複数の発明 30 者により共同でなされた場合に各発明者の承認も得ることができるようにした点が上述した第1の実施の形態と 異なる。

【0053】なお、本実施の形態において、サーバコン ピュータ100と、クライアントコンピュータ130の 構成は、上記第1の実施の形態におけるそれらの構成と 同様であるのでその説明は省略する。

【0054】クライアントコンピュータ110および120は、原稿作成手段111および121と、発明届出情報登録手段112および122と、承認依頼手段113および123と、確認依頼手段114および124と、表示手段115および125と、確認手段116および126とをそれぞれ合む。

【0055】原務作成手段111および121、発明届出情報登録手段112および122ならびに承認依護手段113および123は上述した第1の実施の形態のそれらと同様のものである。

【0056】確認体領手段114および124の各々は、発明が複数の発明者によりなされた場合に、その発明届出情報および明細書原稿データを作成した発明者(以下、筆原発明者」という。)が他の発明者(以下、「共同発明者」という。)に当該発明届出情報および明細書原稿データの内容確認を依頼するために使用される。

【0057】表示手段115および125の各々は、筆頭発明者からの確認依頼を受けた場合に、サーバコンピュータ100の記憶手段101から発明届出情報および明確書原稿データを取り出して画面上に表示を行う。 【0058】確認手段116および126は、共同発明者の指示により発明届出情報および明確書原稿データの確認処理を行う。 【0059】なお、本実施の形態でも、発明者が使用するクライアントコンピュータとして2台のみを示しているが、発明者の数に応じて任意の台数のクライアントコンピュータを設けてよい。また、1台のクライアントコンピュータを複数の発明者(共同発明者を含む)の間で、または、発明者と上司との間で共用するようにしてもよい。なお、発明者と上司とで共用する場合には、当然のことながら、上記各手段を全て1台のコンピュータに設ける必要がある。

【0060】次に、図4~図6を参照して本実施の形態 10 けられて記憶手段101に登録される。 の動作について詳細に設明する。 【0067】この登録処理の具体例とし

【0061】以下では、クライアントコンピュータ11 0が筆頭発明者により使用され、クライアントコンピュータ120が共同発明者によって使用される場合について設明する。

【0062】クライアントコンピュータ110において、原稿作成手段111は、公知のワードプロセッサ等の文書作成ソフトウェアを起動し、該ソフトウェアを使用して発明者に特許出顧用明細書の文書データを作成させるとともに、公知の損菌ソフトウェアを起動し、該ソ20フトウェアを使用して筆頭発明者に因面データを作成させる。筆頭発明者は、該文書作成ソフトウェアを使用して文書データに図面データを挿入する(貼り付ける)ことにより文書データと図面データとが合成された明細書願稿データを作成する。原稿作成手段111は、この原稿データに該筆頭発明者が指定するファイル名を付して外部記憶装置(図示せず)に格納する(図5のステップ501)。

【0063】一方、発明届出情報登録手段112は、明編書原稿データの整理番号(すなわち、発明届出の整理 30番号)、該原稿データを作成した筆順発明者の名前(筆頭発明者名)、共同発明者の名前(共同発明者名)、発明の名称等の発明の届出に必要な発明届出情報と該原稿データのファイル名とを筆度発明者に入力させるための発明届出情報入力画面を表示装置(因示せず)に表示し、筆頭発明者によるそれらの情報の入力を待ち合わせる。ここで、発明届出の整理番号は所定の規則に基づいて付与される番号(例えば、発明の届出の早い順に付与される連該番号)である。この番号は筆頭発明者が入力するのではなく、発明届出情報登録手段112が自動採 40番して発明届出情報入力画面に自動的に設定するようにしても良い。

【0064】発明届出情報入力画面は第1の実施の形態において使用した図8に示す画面10と同じものである。本実施の形態では発明者は複数であるため、各発明者の社員番号、名前、電話番号、電子メールアドレスおよび所属部門をフィールド13~17にそれぞれ入力する。

【0065】発明届出情報登録手段112は、この発明 (ただし、筆頭発明者のためのサブエントリを除く)の 届出情報入力画面10に明細書原稿データの発明届出情 50 確認依頼状況フィールド30に"済"を登録するようコ

報および該明備書原稿データのファイル名が筆頭発明者 により入力されると、該ファイル名に対応する原稿デー タを上記が認知権監督から第五出し、韓国第データの第

タを上配外部配値装置から読み出し、鉄原稿データの発明届出情報とともにサーバコンピュータ100に送信する(ステップ502)。

26

【0066】次に、サーバコンピュータ100において、クライアントコンピュータ110内の発明届出情報登録手段112から送信された明緒書原稿データと観原稿データの発明届出情報とが受信され、これらが対応付

【0067】この登録処理の具体例としては、上述した第1の実施の形態における場合と同様に、原稿データを記憶手段101内の包袋ファイル102に格的するとともに、その格納アドレスと発明届出情報とを対応付ける包袋ファイル管理デーブル103を包袋ファイル102に設ける方法を挙げることができる。

【0068】図9はこのような包袋ファイル管理テーブル103の一例を示す。

【0069】図において、テーブル103は複数の発明 届出情報を登録するための複数のエントリから構成され、各エントリは発明届出情報を構成する整理番号、発明の名称、発明者名、社員番号、所属部門および電話番号等がそれぞれ登録されるフィールド21~26と、当該発明届出情報に係る原稿データの包養ファイル102内の格納アドレスが登録されるフィールド27と、承認依頼状況フィールド28と、承認状況フィールド29と、確認依頼状況フィールド30と、確認状況フィールド31とから構成される。また、各エントリーのフィールド23~26、30および31は複数のサブエントリーからなり、各エントリーのこれらのサブエントリーからなり、各エントリーのこれらのサブエントリーのフィールド23~26、30および31には各発明届出に係る範頭発明者およびその共同発明者の情報が入力される。

【0070】次に、クライアントコンピュータ110の 確認依頼手段114は、筆頭発明者の指示により、発明 展出情報入力画面10(図7)に入力された発明者フィ ールド14を参照してその発明が共同発明であるかどう かを判断し(ステップ503)、共同発明である場合に は、発明届出情報および明練書原稿データの登録が完了 した旨を発明者フィールド14に示される共同発明者全 員に適知するとともに、サーバコンピュータ100の記 .億手段101に格納された明編書原稿データの確認を依 類する(ステップ504)。このとき、施研発明者から 共同発明者に適知される内容には、承認を依頼したい発 明届出情報のうちの少なくとも一部(以下の説明では、 これは「整理番号」であるとする。)が含まれる。承認 依頼手段114は、さらに、当該発明届出情報に対応す る管理テーブル103のエントリーの各サブエントリー (ただし、筆頭発明者のためのサブエントリを除く)の ンピュータ100にも通知をする。 (ステップ50 5).

【0071】ここで、共同発明者への確認依頼通知は、 電子メール等の適当な適知手段を利用できる。例えば、 電子メールを使用する場合、この確認依頼の電子メール の宛先アドレス(すなわち、共同発明者の電子メールア ドレス)は、発明届出情報入力画面100電子メールア ドレスフィールド16に入力されたアドレスを使用すれ RTW.

【0072】以後の説明では電子メールを使用して各種 10 の運知を行うものとする。

【0073】次に、以上のような確認依頼に応答してク ライアントコンピュータ120が行う動作について、図 6を参照して説明する。

【0074】確認依頼の通知を受けた共同発明者が該当 する明細書原稿データおよびその発明届出情報の内容の 表示を指示すると、クライアントコンピュータ120の 表示手段125は、サーバコンピュータ100の記憶手 段101内の管理テーブル103を参照し、この管理テ ーブル103のエントリーのうちの、確認依頼の電子メ 20 ールに含まれる整理番号と一致する整理番号が整理番号 フィールド21に登録されているエントリーを特定し、 そのエントリー内の発明届出情報を読み込むとともに、 当該エントリーの原稿データ格納アドレスフィールド2 7に登録されている格納アドレスに基づを明細書原稿デ ータを包袋ファイル102から読み込み、読み込んだ明 組書原稿データおよび発明届出情報を画面上に表示し (図6のステップ601)、共同発明者による確認の指 示を待つ(ステップ602)。

【0075】ここで、共同発明者が発明届出情報または 30 明媚書原稿データの内容について修正すべき点があると **早断すると、修正点を筆頭発明者に連絡し、修正したも** のによる再度の確認依頼が筆頭発明者から来るのを特

【0076】共同発明者から確認の指示があると、確認 手段126が確認処理を行う。確認は、具体的には、確 翌手段126から承認すべき発明属出情報の整理番号を 合む確認指令をサーバコンピュータ100に送り、これ に応答して、コンピュータ100が管理テーブル103 番号が整理番号フィールド21に登録されているエント リーを特定し、そのエントリー内の当該共同発明者のサ ブエントリーの確認状況フィールド31に" 済" を登録 することにより行う。

【0077】また、発明届出情報に修正があった場合に 筆頭発明者に連絡することなく共同発明者自らが修正を 行うときには、確認手段126がこの修正情報も確認指 令とともにコンピュータ100に送り、これに応答し て、コンピュータ100が整理番号に基づき管理テーブ ル103内の該当エントリを特定し、その発明届出情報 50 この効果は、発明者の数が増加するほど顕著になる。

28

を修正情報により修正する。

【0078】さらに、明柳書原稿データに修正があった 場合に筆頭発明者に連絡することなく共同発明者自らが 修正を行うときには、確認手段126が修正した明細書 原稿データを確認指令とともにコンピュータ100に送 り、これに応答して、コンピュータ100が修正済明編 書原稿データを包換ファイル102内の適当な場所に格 約するとともに、整理番号に基づき管理テーブル103 内の該当エントリを特定し、そのエントリー内の収穫デ ータ格納アドレスフィールド27の内容(現在は筆頭発 明者の作成した明細書原稿データの格納アドレスが格納 されている。) を修正済明網書原稿データのファイル1 02内の格納アドレスで更新登録する。これは修正前の 明編書原稿データが修正接の明編書原稿データで置換さ れたことを意味する。修正後の明練書原稿データで修正 前の明細書原稿データを置換するのではなく、修正後の 明細書原稿データを修正前の明細書原稿データに追加す るようにしてもよい。この場合には、管理テーブル10 3の原稿データ格納アドレスフィールド27を各エント りにつき複数個設ければよい。このようにすることによ り、筆頭発明者が最初に作成した明細書原稿データとこ の原稿データを共同発明者が修正した修正済明報書原稿 データとの双方が登録されたことになる。

【0079】なお、以上の修正において、明細書取稿デ ータ中の修正を行った箇所には共同発明者により修正が 行われた旨を明示する情報を設定するようにしてもよ い。例えば、各共同発明者にそれぞれ異なる色を対応づ けておき、修正箇所には、その修正を行った共同発明者 に対応する色を属性として付加するようにすればよい。 【0080】一方、筆頭発明者は、クライアントコンピ ュータ110の表示手段115に指示して、管理テープ ル103の確認状況フィールド31の内容を表示装置 (図示せず) に表示させ、全ての共同発明者が確認を完 了したかどうかを判断する(図5のステップ506)。 【0081】共同発明者全員の確認が終了している場合 には、クライアントコンピュータ110の承認依頼手段 113が、発明届出情報および明細書原稿データの登録 が完了した旨を上司に選知し、サーバコンピュータ10 0の記憶手段101内の包袋ファイル102に格納され を検索し、確認指令に含まれる整理番号と一致する整理 40 た発明届出情報および明細書原稿データの承認を依頼す る(ステップ507)。

> .【0082】以後の動作は上述した第1の実施の影響の 動作と同じであるためその説明は省略する。

> 【0083】本実施の形態では、発明が複数の発明者に より共同でなされた場合、明備書原稿を作成した発明者 が自ら該明細書原稿を携えて他の各発明者の元へ直接出 向き、該各発明者に該明細書原稿の確認を依頼していた 従来に比べて、その処理を全て電子的に行うため、該処 理を効率よく実施することができるという効果がある。

# [0084]

【発明の効果】以上監明したように、本発明には、発明 者による特許出顧用明確書の原稿データの作成処理から 作成した原稿データの上司による確認、修正および承認 処理までを全て電子的に効率よく行うことができるとい う効果がある。

【0085】さらに、本発明には、発明が複数の発明者により共同でなされた場合、発明者の一人による該発明の特許出顧用明確書の原稿データの作成処理から、該原稿データを他の発明者に確認させ、必要であれば修正を行わせるといった一連の処理を全て電子的に効率よく行うことができるという効果がある。

#### 【図画の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の影響の構成を示すプロック図である。

【図2】第1の実施の影響の動作を示す流れ図である。

【図3】第1の実施の影響の動作を示す流れ図である。

【図4】本発明の第2の実施の形態の構成を示すプロック因である。

【図5】第2の実施の形態の動作を示す流れ図である。

【図6】第2の実施の影響の動作を示す流れ図である。

30 【図7】本発明の第1および第2の実施の形態における 発明届出情報の入力画画を示す図である。

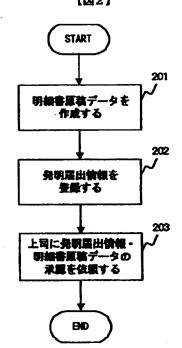
【図8】本発明の第1の実施の形態における包換ファイル管理テーブル103の内容を示す図である。

【図9】本発明の第2の実施の影響における包袋ファイル管理テーブル103の内容を示す図である。

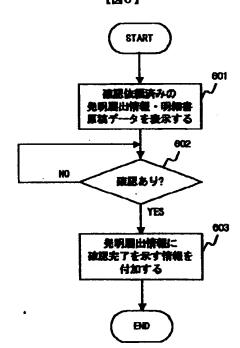
#### 【符号の説明】

	B 10 7 BE 712	
	100	サーバコンピュータ
	101	記憶手段
10	102	包袋ファイル
	103	包袋ファイル管理テーブル
	110, 120, 130	クライアントコンピュータ
	111, 121	原務作或手段
	112, 122	光明层出情報登録手段
	113, 123	承权依据手段
	114, 124	確認依賴手段
	115, 125	表示手段
	116, 126	確認手段
	131	表示手段
20	132	修正手段
	133	承包手段

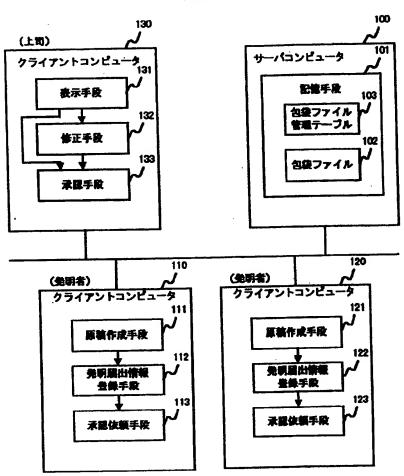
## 【图2】



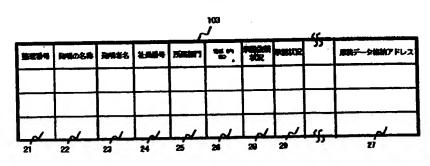
### 【図6】

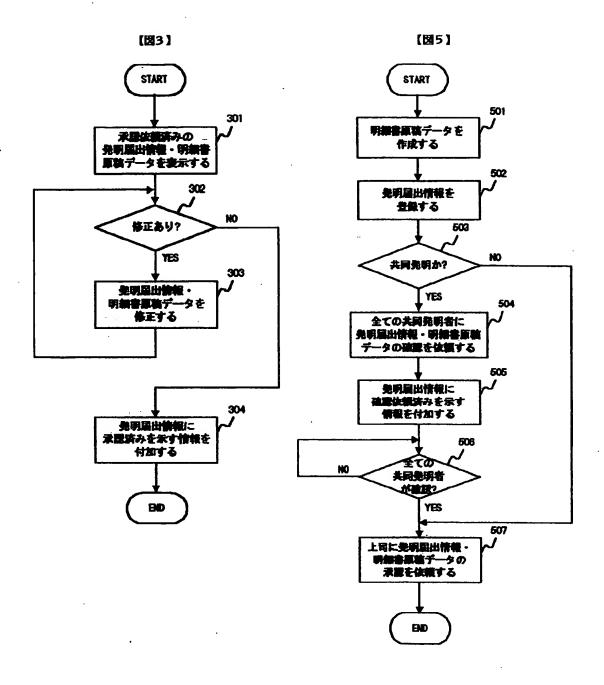


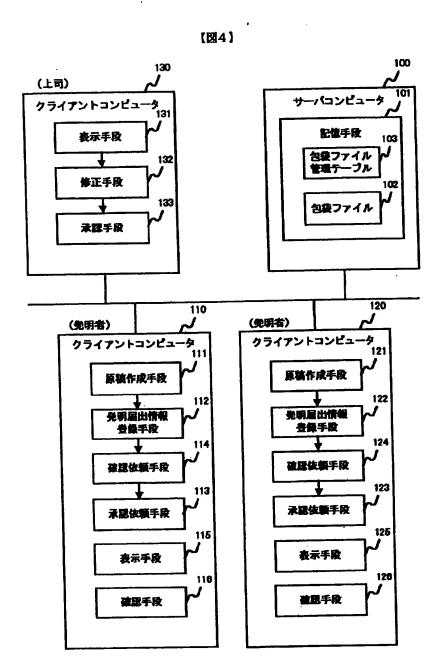
【図1】



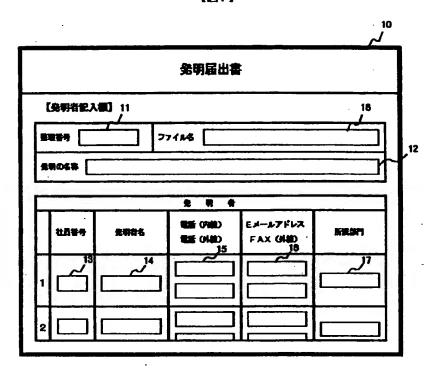
【图8】



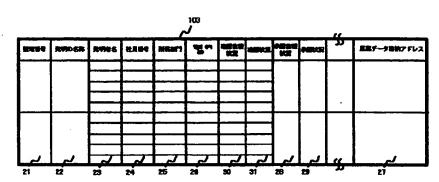




【図7】



【図9】



フロントページの鏡き

(72)発明者 久保 洋之

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株

式会社内

(72)発明者 井本 史生

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(72)発明者 松本 真次

神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 (かながわサイエンスパークR&Dビジネ スパークビル) 株式会社NEC情報シス テムズ内 (72)発明者 橋本 大

神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 (かながわサイエンスパークR&Dビジネ スパークビル) 株式会社NEC情報シス テムズ内